

# 09' 1年トライアル in chiba

## 1. 広報部の設置

- ・活動の報告を資料、新聞、DVDなどにまとめる。
- ・報告書（写真なども含め）を作成し、各单位団に送付。
- ・春の交歓交流会などの企画を送付。
- ・Jr 参加者に対し、Jr 大会時に手紙の作成を行わせ、半年後に送付させる。

※リーダーのことを、各单位団の指導者、参加者に理解知ってもらおう。

## 2. 指導者へのアンケート

- ・スポーツ少年団登録指導者に対して、リーダーについてのアンケートをとる。
- ・方法としては、指導者協議会や認定員講習会などで行う。

※リーダーと指導者の距離を縮めると同時に、指導者の意見を活動に生かしていく。

## 3. 春の交歓交流会の継続

- ・前年度から引継ぎ、交流会を行う。

※リーダーについて知ってもらい、増員に繋げる。

また、リーダーとしてのスキルアップを狙う。

## 4. 単位団との交流

- ・単位団内で交流を深め、自分の単位団に持ち帰り活用。
- ・リーダーの中で考えを深め、より良い活動をする。

## ●参加リーダー・育成指導者の声

### \*千葉県リーダー会会長 五木田 尚之\*

関東ブロックリーダー研究大会を終了し、千葉県のレベル低さをつくづく感じました。研究大会に参加するのは二度目になりますが、他の都県もリーダー会の現状問題に対し、真剣に取り組んでいると思いました。

二日間限られた時間の中で、ディスカッションや交流を行う場としては、短い時間でしたが、この大会で、各都県のリーダーたちと交流できました。今回、開催県である神奈川県ですが、リーダー会員の高校生以上が数名しかいなく、その他は全て中学生が運営として行っていました。関東レベルでの大会で中学生のリーダーどこまで出来るか心配される部分はありましたが、とてもしっかりしていて分散会でも発言が多く見られました。今大会では、中学生参加可能でしたが開催県以外は参加していませんでした。しかし、自分的にはこのような大会にも中学生を参加させるのは良いと思いました。中学生の段階で参加させれば、よりリーダーへの理解に繋がり、他県との交流もスキルアップには良いと思いました。今後、このような形式も考えてもらいたいと思いました。

新たな1年トライアルも決定したので、少しでもいい形に繋がる段階を作っていこうと思いました。今回のトライアルは、千葉県にとってレベルUP・スキルUPに繋がると思います。他県に負けないように、一丸となって頑張っていこう。

この研究大会を通して、千葉県リーダー会員に対し、他県やリーダー同士の交流の場への積極的な参加して欲しいと感じました。他県を知ることで、更に自県の大切さを知ることが出来ると思いました。

### \*千葉県リーダー会 高木 優衣\*

私が参加したのは二回目だったのですが、関東ブロックリーダー研究大会と一概にいても毎年開催件独自のスタイルでプログラムを組み、各県の思いも入れて議題を設定していたので、準

備などにとっても手間がかけられているなと思いました。

今年度は、第一分散会として「理想の指導者像」について話し合いました。テーマが難しくて最初は進行がスムーズに進まなく、テーマになっていた指導者の先生方に助けをもらいながら順調に進むことができました。私が本当に、この分散会にいていいのかなども思いましたが、参加している以上、自分のやるべきことはやらなければならないと思い臨みました。

私たちが理想の指導者について話をしても、それは、きっと私たちにとって都合のいい指導者になってしまうと感じました。また、リーダーと指導者の関係といっても最終的には人間同士であるから、私たち自身も変わっていかなくてはならないと思いました。

最初にアイスブレイクが入り、各県のリーダーのレベルの高さにも驚きました。これからの自分のための、勉強にもなり今後のリーダー会活動に活かしていきたいと考えています。

#### \* 育成指導者 島田 佑介 \*

今回の研究大会では、開催地が神奈川県ということもあり運営スタッフや参加者に、中学生が多く見受けられました。今までにない運営形式で行われました。私自身も、研究大会に今回で四回目の参加となりました。関東ブロックでは、一巡するまでは各都県の持ち味を出すということで、今大会では中学生が中心ということもあり、千葉県でも近年中学生リーダーの増加に対する対策問題もあるので、とても期待しつつも、心配される部分も多々ありました。

今大会では、～Enjoy♪鍛えよう、リーダー力!!～をテーマにして行われていました。施設も県の体育施設だけあり、交通の便もよくとても大きな施設でした、また、ドラマ(ガリレオ)で使用された食堂(玉屋食堂)で食事をとる事もできて良かったと思いました。しかし、神奈川県スタッフも初めて使用するという事もあり、戸惑う部分も多々もありました。

分散会では、①理想の指導者像と②世代交代の議題を二分科会ずつ分け行われました。例年だと開催県が議長なりを務めるのですが、中学生ということもあり各都県から出し合う形になりました。議題に関した、非常に大き過ぎてしまい、高校生・大学生のリーダーも最初は困惑していましたし、なおさら中学生のリーダーは話にもついていけない状況でした。各分科会とも、議題に対し更なる的を絞り話し合うことにしました。どの分科会とも方向性の確認を行い、まとめとして上げられていました。私は、研究大会で行う議題として、一泊二日という短期間で行うということもあるので明確化が必要とされると感じました。また、今回大会では、中学生の参加ということもあるので、更なる明確化が必要であったのではないかと。今後も中学生の参加が見込まれるのなら、課題としてあげていかなくてはならないと思いました。

来年度の第八回東京開催で丁度一巡するので、これまで各都県が行ってきた研究大会を見直し、関東ブロックとしてどういった方向性で研究大会を行っていくのか、日時などを含めて詰めていく必要がある。二巡目へいい形で持っていければ関東ブロックのスキルアップにも繋がるし、リーダー育成の必要性にも重点を置いていけると感じました。

また、千葉県としても中学生の増員傾向にある中で、活動場所の確保や役割分担を行い、次世代のリーダー育成にも力を入れていく。今回の1年トライアルもその事を踏まえて設定しました。千葉県リーダー会が少しずつでも軌道に乗っていけるようにバックアップに心掛けていこうと考えている。